



松戸保健所感染症情報



2016年12月

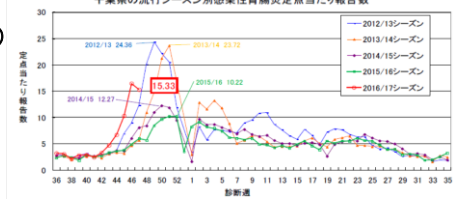
(一般版) (2016年12月6日配信)

嘔吐・下痢症状に注意！感染性胃腸炎の施設内集団発生数は増加中！

【発生状況】2016年47週の千葉県全体の定点あたり報告数は46週の16.5から15.33にやや減少していますが、**松戸は(23.4)と報告が多い状況で、注意が必要です。**他に、報告が多い保健所は、船橋市(25.9)、市川(18.9)、柏(17.8)と、近隣の保健所管内となっています。例年同時期より、患者数が多い状況です。

表 平成28年度松戸健康福祉センター管内 感染性胃腸炎施設内集団発生施設報告数(平成28年11月1日～12月2日)

市町村名	乳幼児施設 (保育所・幼稚園等)	高齢者施設	小学校	中学校 高校	その他
松戸市	9	0	3	0	2
流山市	6	0	6	0	0
我孫子市	12	0	2	0	0



【感染経路】病原体が、**手指や食品等を介して経口感染します。**ノロウイルスは乾燥すると空気感染することもあります。

【症状】吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度な発熱等です。乳幼児や高齢者は重症化することがあり注意が必要です。

【予防方法】**食事の前、トイレ使用后、下痢や嘔吐等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後は、必ず石鹸と流水による手洗いを徹底しましょう。**吐物や便は乾燥しないうちに床等に残らないよう速やかに**次亜塩素酸ナトリウム**で消毒し、処理後はウイルスが屋外に出て行くよう空気の流れに注意しながら**十分に換気**を行うことが重要です。高齢者施設・保育施設・障害者福祉施設・学校等においては、感染症が持ち込まれないよう対策を図り、利用者や職員の健康観察を行い、発症者の早期発見に努めてください。また、感染症対策マニュアルを確認し、**オムツ交換や嘔吐時の対応について、職員全員に周知**対応できるよう備えてください。

【消毒液の作り方】☆市販の塩素系消毒薬の原液濃度は約5%ですが、異なる場合もあるので、濃度を確認して使用してください

消毒対象	必要な濃度	原液の濃度	希釈倍率	1Lの水に加える消毒液(原液)の量
便や吐物が付着した床やオムツ等	1000ppm(0.1%)	5%	50倍	20ml
トイレの便座やドアノブ、床、衣服、リネン類等	200ppm(0.02%)	5%	250倍	4ml

◇「ノロウイルスに関するQ&A」(厚生労働省) http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

インフルエンザ流行中～インフルエンザワクチン接種と手洗い、咳エチケットを推奨しましょう～

【発生状況】千葉県の2016年47週の千葉県全体の定点あたり報告数は、46週の1.21から増加し1.64でした。保健所別では、夷隅(13.6)香取(5.17)、長生(3.57)が多く、東葛飾エリアである野田(2.86)も多い状況です。**松戸は(0.80)で県全体よりやや少ない状況**です。

【症状】インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。乳幼児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力が低下している方は肺炎を伴う等、重症になることがあります。

【感染経路】主な感染経路はくしゃみ、咳等から発生する飛沫による感染(飛沫感染)。他に飛沫の付着物から手指を介した接触感染。

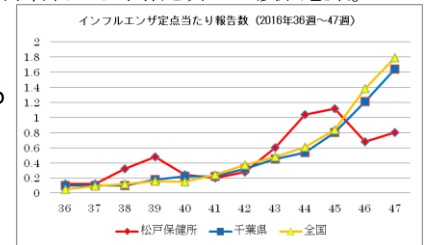
【予防方法】

- ①流行前のワクチン接種、②咳エチケット、③こまめな手洗いとうがい(特に外出後)、④適度な湿度の保持、⑤十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、⑥繁華街への外出を避ける

【インフルエンザ症状が出たら】早めに医療機関を受診し、人との接触は避けましょう。休養・睡眠・水分を十分にとりましょう。咳やくしゃみ等の症状のある時は、不織布製マスクを着用しましょう。

◇ インフルエンザ Q&A(厚生労働省) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

◇平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>



年末年始に海外旅行予定の方へ

～渡航前に正しい情報収集やワクチン接種を行い、渡航に備えましょう！～

◇渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症(赤痢、腸チフス、コレラ等)です。
◇海外では、日本で発生しない、動物や蚊、ダニ等が媒介する感染症(マラリア、デング熱、ジカ熱、黄熱等)が流行している地域もあり、注意が必要です。
◇麻しん(はしか)、風しん(三日はしか)及びポリオは、海外では感染することがあり注意が必要です。

◇海外渡航をする前に、予防接種歴を確認し、余裕をもって医師にワクチン接種の相談をしておくなど、適切な感染予防を心がけましょう。

旅行中の注意 ①生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べない。②蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使う。③動物や鳥に無暗に触らない。④薬物を使わない。⑤コンドームを使用したセファセックス。

◇年末年始における海外での感染症予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◇年末年始に海外へ渡航される皆さまへ！(検疫所)

<http://www.forth.go.jp/news/2016/12050850.html>



ジカウイルス感染症の緊急事態宣言解除(11/18)

世界保健機構(WHO)は、11/18にブラジルなど中南米を中心に拡大したジカウイルス感染症(ジカ熱)について「国際的に懸念される公衆衛生上の脅威でなくなった」として、2月に出した緊急事態宣言を解除しました。ただし、発生地域では引き続き予防を！

◇ジカウイルス感染症に関する注意喚起(外務省)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_20160312.html

◇ジカウイルス感染症について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

千葉県感染症情報(梅毒)

千葉県の2016年1～47週の梅毒の届出数は118例となりました。過去5年の同時期と比較し届出数が多く、前年同時期の2015年1～47週の届出数65例の1.8倍となっています。

◇梅毒に関するQ&A(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

松戸保健所管内の結核新規登録者数(11月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性・その他		
松戸市	2	3	0	5
流山市	0	0	0	1
我孫子市	2	0	0	0
計	4	3	0	6

感染症発生状況(11月分)…管内医療機関 発生届全数

2類感染症 結核 6件 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件
 4類感染症 レジオネラ症 2件
 5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症各4件、
 梅毒、後天性免疫不全症候群、急性脳炎各2件、アメーバ赤痢 1件

